

施策名	千葉県男女共同参画地域推進員制度の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
2月補正予算額(千円)	1,720			決算額(千円)	1,386		
事業の概要・目的	<p>男女共同参画社会の実現は、県の取組だけで実現できるものではなく、市町村、事業者、県民一人一人がその大切さや必要性を理解し、それぞれが主体的に取組を進めることが何よりも重要である。また、本県における男女共同参画への取組状況や課題は地域によって異なることから、男女共同参画社会づくりを効果的に推進するためには、それぞれの地域特性を踏まえた取組が不可欠である。</p> <p>そこで、地域における県や市町村とのパイプ役となり、地域に根ざした活動を行う「男女共同参画地域推進員」(以下、「推進員」という。)を、各市町村から推薦を受けて知事が委嘱することにより、県民、市町村、県が一体となった男女共同参画の推進を目指す。</p>						
数値目標など							
指標名等	千葉県男女共同参画地域推進員設置市町村数						
目標	40市町村	実績	40市町村(H24. 3.31)				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

平成23年度末には、40市町村、69人の推進員を委嘱している。

【活動内容】県内7地域で推進員の企画によるフォーラム等を実施(17事業 参加者数 1,704名)

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

- ①平成18年度に本事業を開始して以来、活発な活動が行われて、地域住民の男女共同参画についての意識啓発に寄与している。
- ②活動を通じて、地域推進員自体の男女共同参画への理解が深まり、男女共同参画を担う地域人材の育成という効果も出ている。
- ③中学生を対象とした手づくりの寸劇を行うなど、企画も充実してきており、若い世代の男女共同参画に対する気づきのきっかけづくりに効果的な企画・運営ができた。
- ④公民館や学校等への出前講座も実施しており、地域に根ざした取組の促進に大きく寄与している。

〈課題・改善すべき点〉

市町村からの推薦をもとに地域推進員を委嘱しているところであるが、H24. 3. 31現在、14市町村において地域推進員が未設置である。

また、中高年女性が多く、若年世代や男性が少ない。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

・地域推進員未設置市町村に対し地域推進員の推薦を働きかけるとともに、全ての市町村に対し若年世代や男性についても積極的な推薦を依頼していくことが必要である。

・公民館や学校への出前講座など、地域に根ざした活動をさらに充実させていく必要がある。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は、地域での男女共同参画を推進していくうえで大変重要な施策であり、年々充実した取組となってきましたが、引き続き未設置市町村への働きかけや、若年層推進員の開拓を進め、さらに地域推進員が増加するよう努力してください。地域推進員は日中仕事を始め他の活動を抱えています、地域推進員の人数が増加すれば、推進員一人ひとりの負担が軽減されます。

さらに、推進員が県・市町村や地域のNPOと連携する意識を持ち、両者の橋渡し役となる姿勢を持つよう指導してください。

また、地域推進員の積極的な活動を促すために、表彰制度等インセンティブを付与する方法も検討してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

110

施策名	ちばNPO月間(11/23~12/23)の実施
担当課	県民交流・文化課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	2,919			決算額(千円)	2,919		
事業の概要・目的	より多くの県民にNPOやボランティアのことを知っていただき、さらにNPO・ボランティア活動への参加につなげていくため、「ちばNPO月間(11/23~12/23)」を設けて、この期間内に市町村やNPOと連携・協力して多様な普及啓発活動を県内各地域で集中的に展開する。						
数値目標など							
指標名等	市民活動フェスタへの参加人数(1回あたり)						
目標	1,000人	実績	17,675人				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

ちばNPO月間中、船橋市及び市原市の2か所で市民活動フェスタを開催した。
また、NPOの日に県内主要駅等でNPO活動をPRするリーフレットを一斉配布したほか、NPOの日の前後の週において、県内10カ所でNPOのガイドによる県民ウォークを実施した。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
①企画段階
ちばNPO月間の趣旨自体が、老若男女を問わず広く県民にNPOやボランティアの活動を広報し、参加に結び付けていくこととしている。
②施策の効果
市民活動フェスタ、NPOの日県民ウォークのいずれも、休日又は祝日を開催日に含めて実施しており、多くの県民が参加できるよう配慮した。また、女性の構成員が多いボランティア団体が出展していることで、女性に対する社会参加の機会を設けることができた。

〈課題・改善すべき点〉
より多くの県民にNPOについて理解を深めていただくとともに、NPO・ボランティア活動への参加につなげていくため、各事業において、参加につなげる仕組みを取り入れていく必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

出展団体が活動を紹介するだけでなく、体験の場を用意することで、NPOやボランティア活動への一層の参加が促進されると考えられる。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

女性がNPO・ボランティア活動に「参加」するだけでなく、活動方針決定過程へ「参画」することが重要であるという理解と意識付けを啓発活動の中で広げて行ってください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

111

施策名	ホームページ、ニュースレター（月刊誌）、メールマガジンを活用した広報啓発
担当課	県民交流・文化課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	5,439			決算額(千円)	5,277		
事業の概要・目的	県内のNPO・ボランティア団体の運営や活動を進めるうえで必要な情報を収集し、提供するとともに、県民が自主的な地域貢献活動に参加しやすくするため、NPOやボランティアに関する情報を「ちばNPO情報ネット」やニュースレター、メールマガジンにより発行・配信する。						
数値目標など							
指標名等	ニュースレター、メールマガジンの発行回数						
目標	ニュースレター :月1回以上、 メールマガジン :月2回以上	実績	ニュースレター :12回、 メールマガジン: 40回				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

「千葉県NPO情報ネット」の運営により、支援情報や団体の活動情報を提供するとともに、利用者の利便性を向上させるための改修を行った。また、「NPO活動ニュースレター」を12回、「ちばNPO情報マガジン」を40回発行・発信し、きめ細かな情報支援に努めた。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
「NPO活動ニュースレター」及び「ちばNPO情報マガジン」について、当初の目標回数以上の発行を行い、NPO向けに必要な情報提供を行うことができた。

〈課題・改善すべき点〉
特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

4 男女共同参画の視点からの委員意見

ホームページやメールマガジン等に掲載する情報については、固定的な性別役割分担を想像させる表現等に注意して発信してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

112

施策名	県民NPO講座・出前説明会の開催
担当課	県民交流・文化課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	516			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	NPOに関する基礎知識や、NPO活動の実情、県のNPO施策等に対する県民の理解促進を図り、NPO活動への参加を促進するため、県民NPO講座を開催するほか、県民やNPO等が主催する研修会等に県職員や有識者が出向き、希望テーマについて講義や意見交換等を行う。						
数値目標など							
指標名等	県民NPO講座・出前説明会の開催回数						
目標	NPO講座3回、 出前説明会40回	実績	NPO講座1回、 出前説明会29回				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

12月16日に講演、ボランティア団体関係者の対談、ボランティア団体の出展からなるボランティアシンポジウムを開催したほか、出前説明会を計29回実施し、県民のNPO・ボランティア活動の理解促進及びNPO・ボランティア活動への参加促進に努めた。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

ボランティアシンポジウムの「ボランティア対談」において、対談者4名のうち2名を女性のボランティア団体関係者とした。

〈課題・改善すべき点〉

さらに多くの県民に、NPOやボランティア活動について知ってもらい、活動への参加につなげていくため、今後も引き続き、様々な機会や方法により普及啓発を行っていく必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

ちば男女共同参画マガジン等、当課以外の多様な広報媒体も積極的に活用しながら出前説明会などの案内を幅広く行うことで、より多くの県民に普及啓発を図ることができるものと考えられる。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

講座・出前説明会においては、NPO・ボランティア活動における男女共同参画の視点の重要性を踏まえて講義や意見交換等を行ってください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

113

施策名	「民が民を支える地域資源循環システム」の普及促進
担当課	県民交流・文化課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	県民、企業等が資金・物品・人材等の地域資源をNPOに提供する仕組みである「地域資源循環システム『ちばのWA!』」の活用を広く呼びかけ、当該システムを通じたNPOの情報発信や県民・企業等の資源提供を促進する。						
数値目標など							
指標名等	システムを活用して地域資源(物品)が提供された実績						
目標	5件	実績	6件				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

平成23年度は、新たに21団体が「ちばNPO情報館」で情報開示をした。
また、「ちばのWA!基金」への寄付は199件、約260万円集まった。
物品提供は6件あり、26団体に仲介した。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

男女が共に参加し、活動しているNPOへの資源提供の促進を図ることができた。

〈課題・改善すべき点〉

特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

4 男女共同参画の視点からの委員意見

民間の団体等が本事業を通じて発信する情報などにも、固定的な性別役割分担を連想させる表現等を使用しないように、助言・指導してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

114

施策名	地域づくり情報広場における情報提供
担当課	政策企画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	地域活力の向上を目的に、各地域で活動している地域づくり活動団体の特色ある取組を中心に、インターネットを通して情報提供することで、団体相互の交流・連携を促進するとともに、地域活動へ興味がある県民へ向けての紹介の場とすることで、県民の地域活動を活性化させることを目指す。						
数値目標など							
指標名等	—						
目標	—	実績	—				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

地域づくり情報広場に、市町村からの推薦による各地で活躍している地域づくり活動団体を227組掲載した。また、本サイトへのアクセス件数は平成23年度は53,545件となった。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

インターネットによる情報提供を行うことで、男女双方、時間に関係なく閲覧することができるよう配慮した。

例えば、就業している方にとっては、地域づくりに興味があれば就業時間外に情報収集することにより、地域づくりに参画する契機となっている場合もあると思われる。

〈課題・改善すべき点〉

現状では、団体の構成員について性別分けによる人数を記載していないため、男女比が分からない。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

各団体の男女別構成員数を把握すれば、団体の活動内容や活動分野による男女構成比の傾向等を検証でき、男女の地域づくり活動への参画を促進させるために有用と考えられる。このため、構成員の男女別人数も示すなど掲載様式を見直すことが必要と考える。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業により民間団体が発信している情報については、構成員の男女比や団体代表者の性別などにも配慮してください。

また、女性リーダーの養成や、女性が活躍している団体の特集を組んで広報することなども検討してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

115

施策名	団塊の世代や高齢者等の地域活動への参画支援
担当課	高齢者福祉課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	3
2月補正予算額(千円)	9,324			決算額(千円)	9,323		
事業の概要・目的	団塊の世代や高齢者等の地域活動への参画支援						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

地域活動に関するインターネットによるアンケート調査や、関係団体の意見等を踏まえ、生涯大学の目指すべき姿、設置内容や運営体制の改革事項等、今後の運営に当たっての必要項目を網羅した「千葉県生涯大学校マスタープラン」を策定した。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 団塊の世代や高齢者等の自己啓発と社会活動への参加による生きがいきづくりとして反映できている。

〈課題・改善すべき点〉
 特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

4 男女共同参画の視点からの委員意見

学習内容の企画や指導にあたっては、男女共同参画の視点を加味してください。
 受講生が受講を通して、固定的な性別役割分担意識を解消し、男女が協力し合ってまちづくりを行えるよう期待します。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

116

施策名	観光人材の育成支援
担当課	観光企画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	4
2月補正予算額(千円)	7,340			決算額(千円)	7,321		
事業の概要・目的	来訪者のニーズに対応できる地域観光の担い手となる質の高い観光人材(観光リーダー)の育成を図るとともに、近年ニーズが高まりつつある着地型観光・体験型観光において、重要な役割を担っている観光ボランティアガイドのスキルアップを図る。						
数値目標など							
指標名等	千葉県総合計画(観光ボランティアガイド数)						
目標	875人	実績	892人				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

観光リーダー養成講座については、受講者別に3つのコースを開講し、各コース全4回の講座を開催した。また、観光ボランティアガイドの技術向上に関しては、研修会を県内6地域で実施したとともに、先進地事例視察を開催した。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 観光リーダー養成講座については68名の、観光ボランティアガイド研修会及び先進地視察に関しては、197名の参加があり、講座終了後に実施したアンケートにおいても、男女問わず約9割の参加者から、「参考になった」という回答をいただいている。

〈課題・改善すべき点〉
 参加者の男女比率としては、男性の方が高くなっているため、女性の参加者を増やすような取組を考慮する必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

観光地域づくりの現場では、多くの女性が活躍している状況を広くPRしていくとともに、女性が興味を持つような観光トピックを講座内容に盛り込むなど、当講座に女性の参加を促す工夫が必要であると考えられる。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

観光リーダーの養成や観光ボランティアガイドへの研修については、研修内容等に男女双方の視点を意識的に取り入れることによって、リーダーやボランティアガイドによる企画が多面化・多様化すると思われますので、検討してください。

また、観光リーダーや観光ボランティアガイドは男性が多いとのことですので、女性を増やすことができないか検討してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

117

施策名	商店街リーダーの育成支援
担当課	経営支援課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	4
2月補正予算額(千円)	2,011			決算額(千円)	1,612		
事業の概要・目的	次代を担う若手商業者の養成を目的として、商業経営・商店街運営等に関する講座の開催及び塾修了者による「商い倶楽部」の実施により、商業者間のネットワークづくりを推進する取組に対し、事業費を補助する。						
数値目標など							
指標名等	講座回数						
目標	10回講座を開催	実績	7回講座を開催				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

5ヶ月にわたる7回の講座を少人数でのゼミナール形式で行った。
当初講座回数を10回で予定していたが、震災の影響により実施時期が遅れ7回の開催とした。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

① 企画段階

講座の受講対象者は、特に性別に捉われず、「商業を通じて地域活性化に取り組む意欲のある方」を男女双方から募集した。

② 施策の効果

28人の参加があり、19名（男性13名、女性6名）が修了した。（出席率50%以上のものを修了者とする。）

商店の経営者や関係機関職員などの参加があり、講座を通じて次代の商店街を担う人材の育成を図ったとともに、商業者間の交流を深めることにより商店街相互のネットワークづくりのきっかけを作ることができた。

〈課題・改善すべき点〉

より効果的な講座とするためには、講師の選定、講座の内容等について、女性の視点から検討することも必要である。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

女性の視点に立った商業経営、商店街経営の講義も有益と考えられるので、今後検討していきたい。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は商店街リーダーの育成を支援するための育成講座を開催するものですが、女性の参画による経済の活性化は近年注目されている分野であり、講座内容等にその視点を取り入れることも重要です。

講座の企画・内容等については補助事業者が企画しているとのことですが、その基本的な方向性の一つに女性の参画による経済の活性化（男女共同参画）の視点を取り入れるよう、働きかけてください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

118

施策名	男女共同参画の視点に立った地域の防災対策の促進
担当課	防災計画課、消防課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	5
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	地域コミュニティにおける日常の防災対策及び被災時において、女性への配慮が必要であることを、『千葉県地域防災計画』、『災害時における避難所運営の手引き』(平成21年度作成)等において位置づけ、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を図る。 消防団員教育						
数値目標など							
指標名等	—						
目標	—	実績	—				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

県が実施する講演等において、防災対策における女性への配慮の必要性について啓発を行った。
 女性消防団員教育（12時間）【組織制度、訓練礼式、消防操法、防火指導、救急】

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 ・平成23年度から修正を行っている『千葉県地域防災計画』において、総則の中に、新たに男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を図ることを位置付けた。
 ・男性消防団員教育のカリキュラムと比較して、ソフト面（防火指導、救急）の充実。

〈課題・改善すべき点〉
 ・千葉県防災会議委員への女性の登用人数を増やす
 ・『千葉県地域防災計画』『災害時における避難所運営の手引き』等を利用した、より一層の思想啓発と対策推進

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

・千葉県防災会議委員への女性の登用について
 →災害対策基本法の改正を受け、検討中
 ・より一層の思想啓発と対策推進について
 →講演等を活用した啓発、広報の充実

4 男女共同参画の視点からの委員意見

地域防災計画や自主防災組織などの防災分野においては、女性・高齢者・障害者・外国人などを要援護者として位置付けるのみではなく、それらの方々からの多様なニーズに対応できるよう、「参画」という視点から体制整備に努めてください。
 特に、平成24年6月に災害対策基本法が改正されたことから、今後千葉県防災会議委員へ女性の登用が進むことを大変期待します。
 また、消防団員教育については、研修修了者の男女それぞれに定期的な活動の場を与えるなど、人材を積極的に活用してください。

重点(4)地域活動における男女共同参画の促進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

119

施策名	災害対策コーディネーターの養成・活動支援
担当課	防災計画課

1 事業の概要

基本目標	Ⅱ	基本的な課題	5	施策の方向	⑤	施策番号	5
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	災害時にボランティア組織のとりまとめや、行政機関等との連絡調整役を担う災害対策コーディネーターを養成するとともに、災害対策コーディネーターが行う啓発活動を支援する。						
数値目標など							
指標名等	年1回開催						
目標	1回開催	実績	開催を中止				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

・東日本大震災の災害対応のため、災害対策コーディネーター養成講座の開催を中止したほか、啓発活動の支援は行えなかった。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

〈課題・改善すべき点〉

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

4 男女共同参画の視点からの委員意見

災害対策コーディネーターは全体で約 380名、うち女性は約70名と、女性の割合が少ない状況です。災害対策コーディネーターは住民と行政機関のパイプ役であるため、女性コーディネーターを増加させることは、災害時の女性への配慮を深めるためにも有効であることから、女性コーディネーターの育成強化に期待します。

平成23年度は、東日本大震災の災害対応のため開催を中止したとのことですが、今後は定期的な開催を望みます。